

湖畔の風

☆令和4年度田瀬地域コミュニティ会議総会☆

4月16日（土）、来賓として花巻市副市長 八重樫和彦氏、花巻市議会 内舘桂議員のご出席をいただき、「令和4年度田瀬地域コミュニティ会議総会」が開催されました。

令和3年度事業実績報告及び収支決算・令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について審議され、それぞれ原案のとおり承認、決定を戴きました。

なお、令和4年度の事業計画の概要は次のとおりとなっております。

【令和4年度 田瀬地域づくり事業計画概要】

（単位：千円）

部 会	事 業 概 要	予 算 額
総務企画部	・自治会活動保障（賠償責任保険、旧保育所火災保険） ・高齢者世帯緊急対策及び除雪対策	358
生活環境部	・自家水道の水質検査 ・環境保全推進（田瀬の笑顔ごみ収集カレンダー作成） ・白土壁画補修 ・第9回田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会開催	433
保健福祉部	・介護教室開催 ・マジック教室開催 ・緊急入院用品推進 ・紙おむつ支援支給 ・AED設置、パット交換 ・健康教室開催	522
産業振興部	・田瀬のみのりまつり開催 ・アヤメ植栽管理 ・ミニトマト苗助成 ・わかさぎ放流助成 ・ピザ窯作製	710
建設部	・田瀬湖周辺景観整備 ・「ようこそ田瀬へ」看板裏面整備 ・市道黄金沢線側溝整備	700
防災部	・地域防災推進（発電機オイル交換、火災予防横断幕更新、火災予防車両マグネット、防火防災訓練） ・作業安全講習会開催	440
教育振興部	・生涯学習推進 ・砥森山登山道整備 ・さわやかウォーキング開催	380
事務費	事務局運営費	877
合 計		4,420

まだまだ、新型コロナウイルス感染症状況は余談を許さない状況です。その中でも、なんとか、計画通りに事業ができることを願っております。

さらに、地区の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



副市長の八重樫氏のご祝辞をいただきました。



代議員の方々の貴重なご意見、ありがとうございました。

異聞 田瀬の歴史 第5回

風雲急を告げる田瀬

昨年12月から連載の『異聞・田瀬の歴史』で、歴史上に現れる田瀬を追ってきました。まずは延暦21年(802)坂上田村麻呂が白土・明神山に登り祈願をしたとあります。『日本紀略』当時、田瀬は大和朝廷の胆沢城支配下にありました。

次の田瀬の登場は、康平5年(1062)朝廷軍の源義家が安部貞任討伐を祈願するため砥森山に登った時です。それまでの間、田瀬は奥六郡(岩手、志和、稗貫、和賀、江刺、伊沢=胆沢)に位置付けられ、朝廷より「奥六郡の司」として支配権を得ていた安倍氏の支配下でありました。野金山には安倍貞任の弟・家任(いえとう)の山城がありました。この時、源義家が貞任を追って田瀬を攻める時に、野金山の猿ヶ石川を馬で一気に飛び越えたという一剎(ひとはね)伝説が残っています。『前太平記』『南部叢書』『砥嶺神靈翁之夜話』

安倍氏滅亡の後の田瀬は、平泉藤原氏の支配下に置かれていましたが、直接誰が田瀬の領主になったのかは定かではありません。

その後の田瀬の領主は、平泉藤原氏を滅ぼした源頼朝の家臣・阿曾沼氏(第4回記載)から、秀吉の奥羽仕置きにより岩谷堂を追放され、南部家に仕えた江刺氏(第3回記載)と代わります。が、領主となって間もなく田瀬は和賀の兵乱に巻き込まれます。長編となりますので次回以降に詳細をお伝えします。《次回につづく》



『ひとはね』拡大すると…
馬のひづめのあと



『野金山城』跡



★令和3年度田瀬地域づくり事業実績の報告です

新型コロナウイルス感染症のため、中止した事業や変更した事業がありました。地区のみなさんのご協力、ご理解をいただき、このように実施することができました。感謝申し上げます。

【令和3年度 田瀬地域づくり事業実績】

(単位：千円)

部 会	事 業 概 要	決 算 額
総務企画部	・地域づくり活動（自治会保険等、視察研修、高齢者世帯及び除雪対策、白土集落センター改修助成）	366
生活環境部	・自家水道水質検査 ・家庭ごみ収集カレンダーの作成 ・エコバック支給 ・白土国道T字路周辺景観整備 ・田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会	668
保健福祉部	・介護教室開催 ・マジック教室開催 ・緊急入院用品推進 ・紙おむつ支給支援	188
産業振興部	・コロナ撃退花火打ち上げ ・あやめ苗購入及び植栽 ・ミニトマト苗助成 ・わかさぎ放流	569
建設部	・防犯灯設置 ・中通景観整備 ・旧船着き場付近景観整備 ・小倉景観整備	792
防災部	・地域防災事業（災害時用チェーンソー設置、軽可搬ポンプ用ホース、のぼり旗）	315
教育振興部	・生涯学習推進 ・登山道倒木除去作業 ・グラウンドゴルフ用具 ・シャフルボード用具	580
事務費	・会長報酬、会議等旅費、消耗品費、通信費、事務員賃金等	942
合 計		4,420



たき火や枯草焼きに注意を！！

春を迎え、野外焼却から燃え広がる火災が毎年発生しています。

ちょっと目を離した際に周囲の建物や山林などに燃え広がり、大きな被害となりますので、野焼きをするときは次のことに注意しましょう。

作業を始める前に

- ◇空気が乾燥している日、風の強い日には行わない。
- ◇水バケツなどの消火用具を必ず準備する。
- ◇緊急に備えて消防への連絡体制を確保する。

作業をしているとき

- ◇火が消えるまでその場を離れない。
- ◇火の粉が飛ばないように少しずつ燃やす。
- ◇日の出から日没までに終わらせる。

作業が終わったあと

- ◇火種が残っていないか確認する。
- ◇周囲に燃え広がっていないか確認する。



※ごみの焼却は法律で禁止されています。また、落ち葉の焼却など軽微な焼却であっても、近所の方に煙やにおいで迷惑をかける原因となることがありますので気を付けましょう。

施設利用制限「レベル3」

4月8日（金）振興センター・社会体育館の利用制限が『レベル4』から『レベル3』に引き下げられました。社会体育館は休館・利用時間の制限はありませんが、振興センターにおきましては、土日祝日、夜間の利用はできません。（指定管理者が必要と認める場合は開館・閉館することが出来ます）

皆様には、ご不便ご迷惑をおかけいたしておりますが、引き続きご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお利用される皆さまには、三密を避け、常時マスクの着用、こまめな手洗いなど、基本的な感染対策をお願いします。

詳しいことは、田瀬振興センターまでお問い合わせください。電話：44-5281

小倉の自治会長が菅谷正孝さんから小田島功一さんに代わりました。新自治会長の挨拶文です。

「まがってみる」

この度自治会長を拝命しました小田島功一です。よろしくお願いいたします。

遠野北小学校勤務時のPTA広報部長が、遠野八幡宮の多田宮司さんでした。その多田さんが、PTA広報の編集後記に方言「まがってみる」と書かれたことがありました。当時の私は、「寄ってみる」程度に考えていました。

各班長さんには月2回、班内の世帯を回っていただいておりますが、単に広報等を届けるだけでなく、元気であるか、一人暮らしの方は大丈夫か、生活に変化はないか、農作業は順調か等々、お互いの状況を確認しあう場ではないかと私は考えます。それが、ただ宮司さんが書いていた方言「まがってみる」ではないかと思うようになりました。

田瀬第一行政区・小倉自治会は178人、67世帯の小さな集落ですが、災害が無く、毎日の生活がつつがなく送れるように、微力ながら努めたいと思います。

地区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。（小倉かわら版より）

5月の行事予定

- 胃がん検診 5月16日(月) 6:30~
- 市政懇談会 5月27日(金) 18:00~
- 各専門部会

6月の行事予定

- 各専門部会
- 教振総会、生涯学習推進委員会

※新型コロナウイルス感染状況などにより、変更になることがあります。ご了承ください。

※6月の予定については、後日詳しく、お知らせいたします。また、5月の後半から、専門部会が始まります。部員の方には、別個にお知らせいたします。

田瀬地区の人口

（令和4年3月末現在）

行政区	世帯数	人 数			比較 (2月末)
		男	女	計	
田瀬第1	67	82	94	176	2人減
田瀬第2	28	34	35	69	1人減
田瀬第3	73	79	89	168	1人減
計	168	195	218	413	4人減

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで